

伊達市 市民活動 支援センター NEWS

発行・平成29年9月18日
 編集・伊達市市民活動支援センター
 〒960-0502
 伊達市箱崎字川端7番地
 電話 024-583-2800
 FAX 024-583-2820
 mail bz004492@date-civilsupport.jp
 公式HP <http://www.date-civilsupport.jp>

今から申し込み準備をしたい「平成30年度助成金情報」特集! **第21号**

設立3年以内の団体なら法人格なしでもOKの「うつくしま基金」! 「子ども関連」なら「採択率7割強」の「子どもゆめ基金」!

9月、市民団体にとっては「平成30年度の助成金」申し込み準備にかかる時期です。決して早過ぎません。募集受付中の助成金もあれば、公式発表はまだですが、説明会が伊達市で開催される予定の、福島県の「うつくしま基金」もありますし、第1次募集10月2日からの「子どもゆめ基金」もあります。その他の最新情報もお届けします。

うつくしま基金は「スタートアップ支援」が狙い目。 「A4・4枚の書類審査だけ」今からの準備でOK。

過去、伊達市の個人や任意団体さらにNPO法人から多くの申請が出され採択されてきた助成金が「うつくしま基金」です。今年も間もなく発表されます(右写真は昨年度の案内)、今から準備しておきましょう。

例年いくつかのコースがありますが、活動が設立3年以内の市民団体におススメなのが「スタートアップ支援コース」。今年6月の「29年度後期募集」時にも報告しましたが、「法人資格がなくても申請できます」。助成額は上限30万円ですが、事業費の10/10を助成してくれます。しかも「A4サイズ4枚の書類審査」だけで10月受付開始ですから、じっくり書類作成すれば今からでもOKです。「支援センター」が応援しますから、気軽にご相談ください。

平成29年度 公益信託 第15回
 みんなの公益的な事業を支援します

うつくしま基金

お断り
 この写真は
 昨年度の
 案内パンフです

◆募集期間(平成29年)
 10月7日(金曜日)▶11月7日(月曜日)

◆助成金交付は、平成29年4月です

申請書の提出先
 公益信託「うつくしま基金」事務局
 〒960-8633 福島県伊達市 3-25 TEL.024-523-3131

申請書作成などのご相談は
 (お問い合わせ) 特定非営利活動法人 うつくしまNPOネットワーク
 〒960-8635 福島県伊達市小原2丁目19-19
 TEL.024-953-6092 FAX.024-953-6093
 [MAIL] uketsuke@utsukushima-npo.jp
<http://www.utsukushima-npo.jp/>

十月六日(金) 午後六時半から伊達市保原中央交流館
 3階大会議室で「うつくしま基金」説明会開催決定!

子どもの「体験活動」「読書活動」を計画なら、 「子どもゆめ基金」を外すことはできません!

「子どもゆめ基金」は平成29年度実績で全国の採択件数4905件、交付決定総額約17億2400万円です(「子どもゆめ基金ガイド」より)。規模の大きさもそうですが、創設以来16年と実績もありよく知られているからでしょう、採択率の高さも際立っています。平成29年度の「採択率」は「体験活動70.6%」「読書活動73.0%」。申請した7割強が採択されているのですから「子ども関連市民団体」なら、助成金候補の筆頭に挙げたいところです。

助成金は全国規模から市町村規模まで「活動規模(エリア)」で標準額(目安)が決まっています。

ちなみに伊達市内で「体験活動」「読書活動」を計画すると「50万円が目安」ですが、謝金の額等に細かな規則があります。支援センターに詳しいスタッフがおりますから、ぜひご相談ください。第1次募集開始は10月2日です。

子どもゆめ基金

子どもゆめ基金 募集案内

子どもの体験活動・読書活動への助成を行っています

活動規模	平成29年度	平成30年度
標準額(目安)	10.2万円	5.1万円
採択率	11.14%	6.5%
募集期間	11.28日17時	6.19日17時

子どもゆめ基金 事務局
 〒960-0502 伊達市箱崎字川端7番地
 TEL.024-583-2800 FAX.024-583-2820
 mail bz004492@date-civilsupport.jp

・助成対象は「体験活動」と「読書活動」に別れています。このうち「読書活動」は「読み聞かせ会」「おはなし会」「読書会」「ブックトーク」と具体例もすぐ思い浮かびます。

・一方「体験活動」は6つの分野に細かく分かれています。①「自然体験」②「科学体験」③「交流を目的とする」④「社会奉仕体験」⑤「職場体験」⑥「総合・その他の体験」の6つで、募集要項では実に「細かな具体例」を例示してくれています。

・例えば「交流を目的とする」分野では「大人たちとの学び合いの交流」として「和紙づくり」「染物」「竹細工」「焼き物」「踊り」「太鼓」「子守唄」「わらじ作り」「郷土料理」等、16の具体例が例示されていますので、ぜひ募集要項を参考にすることをおすすめします。

「県北地域限定の助成金も2つあり」、ただいま募集中です！ 探せば、自分たちにふさわしい助成金も見つかります！

「ふくしんこども応援賞」は10月2日締め切り。
「のっぽ基金」は10月27日締め切りです。

助成対象エリアを絞った助成金もあります。ひとつが福島信用金庫さんの「ふくしんこども応援賞」(写真右)。「福島市・伊達市・伊達郡」の子ども達の「文化活動」や「スポーツ活動」を「継続して応援する団体または個人に応募資格」があります。賞は「もも20万円」「ウグイス10万円」「アカマツ5万円」の3賞があり、去年は13件が受賞しています。

もうひとつが認定NPO法人ふくしまNPOネットワークセンターさんの「のっぽ基金助成金」(写真左)。「福島県県北地域」で活動する市民団体の「新たに取組む事業」が対象で助成の上限が1団体100万円。応募事業から2事業を予定しているとのことですから、該当団体はぜひチャレンジしてみてください。



●「第5回ふくしんこども応援賞」(右)は「文化活動」「スポーツ活動」をしている子ども達が対象。●「のっぽ基金」は「2017年12月4日～2018年12月31日に実施する事業」が、助成対象です。

一方、市民活動を市民の寄付で支えようと、「ふくしま百年基金」構想が動き始めています。

東日本大震災、福島第一原発事故からの復旧・復興に取り組んでいる「一般社団法人ふくしま連携復興センター(以下「連携復興センター」)」はこのほど、「ふくしま百年基金」の構想を発表(右パンフレット写真)。<ふくしまを豊かにする・地域のお財布「ふくしま百年基金」>の実現に向け動き始めました。

目指すのは<地域の夢を実現するための「資金」を地域の皆さんの寄付によって支え、地域の皆さんで活用していく資金循環を生み出す>こと(案内パンフより)。「連携復興センター」はそのため『「ふくしま百年基金」設立準備室』を立ち上げ、県内各地で「座談会」や「ワークショップ」を重ね「ふくしま百年基金」実現の活動を始めたのです。市民活動を市民の基金で支えようという試みはまだ少ないようですが、市民活動を支える「支援センター」としてもその趣旨に寄り添うべく、広報活動を通して協力することとしました。ぜひ、多くの皆さまのご理解、ご協力をお願いします。



●「ふくしま百年基金」設立準備室はこのパンフレットで「あなたが描く百年後のふくしま」キャンペーンを実施。
●作文、詩、絵、写真等、表現は自由ですが、「ふくしま百年基金」を使って、こんな理想の地域をつくりたい、ふくしまはこんな地域であってほしい…あなたが描くふくしまを、ぜひ教えてほしい、と期待しています。
●応募用紙はインターネットからダウンロードできます。

「各種助成金」の詳細は「月曜～土曜」にお気軽に「支援センター」にお尋ねください。

「活動は月曜から」という市民団体が多い中、ことし4月から「支援センターも活動は月曜から土曜」とし「日曜休館」とさせていただきます。今号で取り上げた「うつくしま基金」「子どもゆめ基金」「のっぽ基金」はもちろん、支援センターには、ここに紹介しきれないさまざまな「助成金情報」が連日届いていますから、ぜひ「自分たちの活動にふさわしい助成金はないか」と、お気軽にお問い合わせください。申請方法までサポートいたします。



伊達市市民活動支援センター
 電話番号: 024-583-2800 FAX: 024-583-2820
 ○開館: 毎週・月～土曜(日曜休館) 午前9時～午後6時
 伊達ふれあいセンター3階まで